

# 東京都高尾山：東京都レンジャーとの情報交換会

令和元年 12 月 18 日（水曜日）

●東京都レンジャー5名とかながわパークレンジャー他県職員4名は、高尾ビジターセンターで情報交換会を行いました。

●東京都レンジャーは、都内の自然公園を巡視しながら、主に次の業務を行う都の職員です。

- ・公園利用者への利用マナーの普及啓発
- ・動植物の分布状況の把握、盗掘等の監視
- ・登山道や案内板などの点検応急補修
- ・森林の保全に関する業務
- ・利用者への自然解説・ルート案内

かながわパークレンジャーとほとんど同じですが、担当業務は私たちより多く歴史も長い先輩です。

●高尾山から陣馬山へ続く稜線が県境になっているので、登山道状況などの連絡は随時取り合っていますが、直接会う機会は5年ぶりです。

●まずは高尾山口駅前の観光案内所にご挨拶に伺い、台風の被害状況などの情報交換を行いました。



●登山口では、台風の被害状況と告知の方法について解説して頂きました。



●登山道を歩きながら、事故の多い場所の対策や補修の方法についての話を聞きました。



●高尾山は初心者向けの山として人気ですが、事故も多く発生しています。魅力だけでなく危険や事故を伝えるのも、東京都レンジャーの仕事です。



●高尾山山頂からは、丹沢山塊がよく見えました。



●高尾ビジターセンターも見学しました。

神奈川県自然公園指導員に似たボランティア活動の制度で、東京都にはサポートレンジャーという制度があります。



●午後は、高尾ビジターセンター内のミーティングルームで意見交換を行いました。植物の盗掘や外国人旅行者の増加等、共通の問題は多く、話は尽きませんでした。

